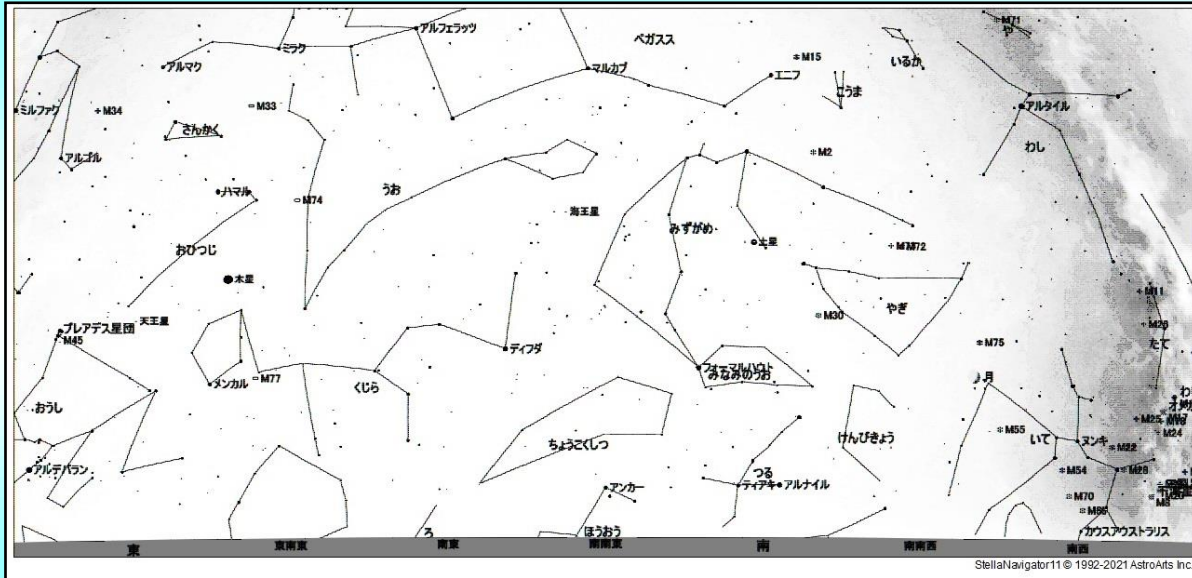


星空観察会「秋の星空と惑星を探そう」

11月18日18:15の南の空(日没後1時間45分)



この日、日没後夕空には、太陽系の2つの惑星が輝いています。巨大ガス惑星木星、輪の印象的な土星です。それらはどのような姿をしているのでしょうか、少し大きめの望遠鏡でのぞいてみませんか。また、この日は三日月過ぎの月、南西には夏の大三角形、西に下る天の川、南の空には秋の星座達、東からは冬の星座が昇ってきます。星座探しをしながら、その中に隠されている星雲や星団も紹介できればと思っています。

土星の輪は地球から見ると年々見え方が変化しています。2025年には、真横になって見えなくなります。今年はどうな風に見えるかな。



ヘルクレス座の M13・ペガサス座の M15 という球状星団、こと座には M57 リング星雲、アンドロメダ座の大星雲 M31、東からはおうし座のプレアデス星団 M45 昇ってきます。今夜はどれを見ようかな 【Mは、メシエと読んで】

南西には、はくちょう座・こと座・わし座、小さなイルカは見つかるかな。夏の天の川はそろそろ西に沈んでいきます。南には、秋の星座たち、大きく空に駆け上がるペガサス座、北の空にはカシオペア座が、観測時間の後半には、東からおうし座が、あなたのお気に入りの星座は？

木星は高速で回転しています。その表面には、縞模様があります。今日は何本見えるかな。そして、ガリレオが発見した4つの衛星も見えるかな。

使用する望遠鏡:アメリカミード社 LX600-30 F8ACF 主鏡30cmで見える星の世界です

アルビレオは、はくちょう座のくちばしの星。宮沢賢治は、望遠鏡で見たその星を宝石にたとえました。今夜は見えるかな。

- 期 日 11月18日(土) 16時~19時
- 内 容 天体のお話と天体望遠鏡による観察
- 会 場 守谷市立郷州小学校校庭
- 募集人数 小学生以上の親子10組(超過の場合・抽選)
- 参加費 無料
- 講 師 中山雅喜氏(公立中学校教員 宇宙少年団松戸SV分団リーダー)
- 持参品 飲み物、懐中電灯、レジャーシート
虫がいるかもしれない必要なら虫よけスプレー

申し込み方法 11月6日(月)17:00までに、QRコードまたはもりりん中央窓口(官製はがき持参)で申込む。



当日天気が悪く、望遠鏡での観測ができないときもお集まりください。映像をお見せしながら、天文に関するお話をします。

